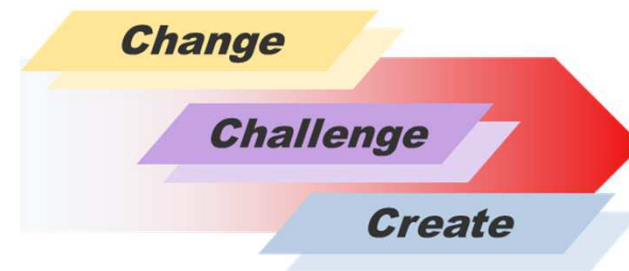


東北電力グループ中長期ビジョン

よりそう*next*

東北発のスマート社会実現を目指して

# 2022年度 東北電力グループ 中期計画の概要（抜粋版）



# 1. 事業環境の認識と力点

## 足もとの事業環境

1

電力卸売・小売の  
収益確保の  
構造的な難しさに直面

2

事業別の最適戦略  
策定・利益最大化  
の必要性

3

3つの“D”（※）の  
潮流加速

※デジタル化：Digitalization  
分散化：De-centralization  
脱炭素化：De-carbonization

4

2050年  
カーボンニュートラル  
実現の機運高まり

「よりそうnext」  
実現

方向性は**堅持**

水準の強化

業務の高度化・抜本的な対策

スピードの加速

事業環境変化に即した対応

が必要

力点1：“Change”

電力供給事業の  
抜本的変革による  
競争力の徹底強化

力点2：“Challenge”

スマート社会実現事業の  
早期収益化への挑戦

力点3：“Create”

企業価値創造を支える  
経営基盤の進化

各力点の下で、利益最大化に資する踏み込んだ対策を実行

## 2. 取り組みの方向性（電力供給事業）

### 再生可能エネルギー

- 他社との協業による開発に加え、これまで蓄積したノウハウを活用し、**自社開発の強化や開発エリア拡大等を進め、開発案件を積み上げ**



ウインドファームつがる（青森）

写真提供：（株）グリーンパワーインベストメント

強化

### 原子力

- 女川2号機は**安全性の更なる向上を実施し、2023年11月までに工事完了**

継続



緊急時対策所  
（女川：建屋躯体工事）

- 東通1号機は、引き続き**適合性審査に的確に対応**

継続

### 燃料調達・火力・卸

- **競争力ある電源の新設、競争力・環境性の低い経年火力の休廃止の推進**

継続



上越火力1号建設状況  
（2022年1月現在）

- トレーディングの活用による**発電・卸の全体利益最大化**

強化

### 東北電力ネットワーク

- **持続的な効率化・生産性向上**

強化

- **電力の安定供給と電力品質維持の確保**

強化

- **新規事業創出と需要増・脱炭素化に資する電化の推進**

継続



ドローンによる延線作業の様子  
（2021年8月）

### 3. 取り組みの方向性（スマート社会実現事業）

#### 電力小売

- 市況変化を考慮しつつ、お客さまニーズや電気の使い方を中心とした最適なメニューをご提案（家庭用分野では東北電力と東北電力フロンティアが一体となり施策を展開） **強化**
- お客さまの脱炭素化に資する再エネメニューや電化のご提案 **強化**



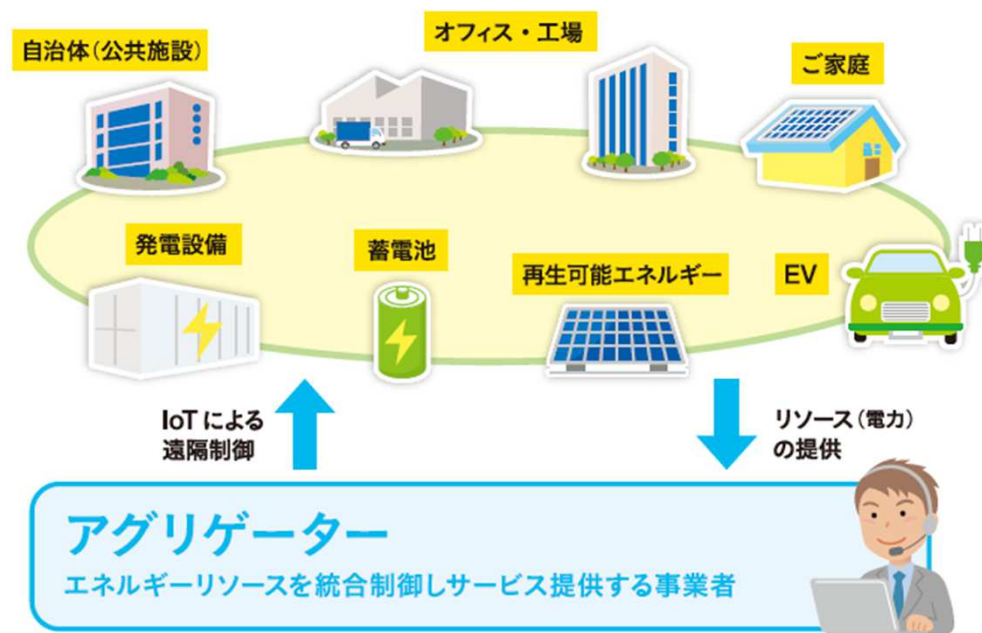
#### 個人向けサービス

- 暮らしの困りごとをワンストップで解決するサービスやじぶん・家族時間を楽しむサービス等のご提供によるパッケージサービスを拡大 **強化**



#### 次世代エネルギーサービス

- VPP事業の取り組みを加速、当社グループのお客さま基盤と連携させて総合的なスマート社会実現事業のサービスを展開 **強化**
- 法人向け・家庭向けの双方において、太陽光発電や蓄電池等の分散電源ビジネスを拡大、スマートライフ電化のご提案を強化 **強化**



VPP※事業のイメージ ※Virtual Power Plant（仮想発電所）

## 4. 取り組みの方向性（組織体制・サステナビリティ）

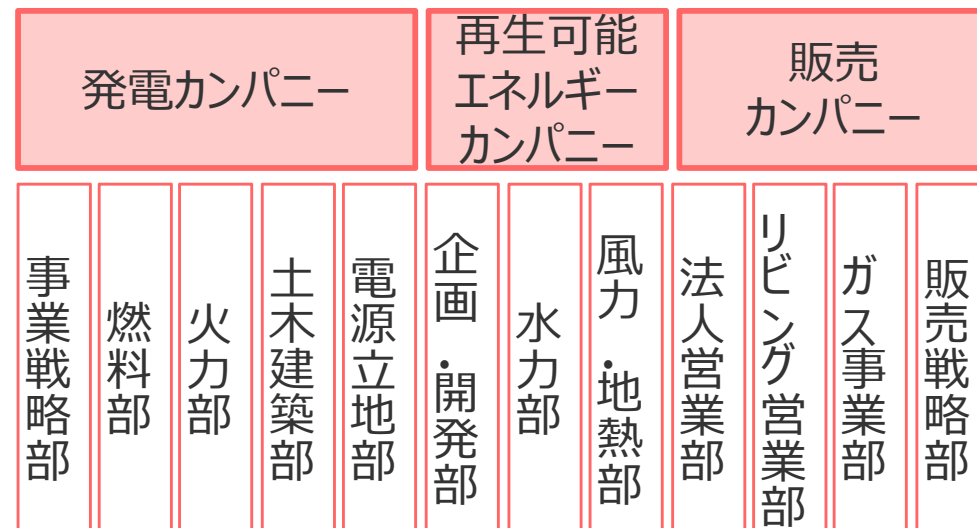
### 組織体制

- 発電・販売カンパニーを発電カンパニー・再生可能エネルギーカンパニー・販売カンパニーの3カンパニーに再編（2022年4月～） 新規

### サステナビリティ

- 「東北電力グループカーボンニュートラルチャレンジ2050」に基づき、「再エネと原子力の最大限活用」、「火力の脱炭素化」、「電化とスマート社会実現」の**具体的な取り組みを実行** 継続・強化
- **水素利用を通じた事業機会獲得検討**と、カーボンニュートラルへの貢献にも資する**EV導入の促進（当社自らも社用車電動化を推進）** 強化

2022年4月以降の組織体制（一部）



カーボンニュートラルに向けた  
3つのアプローチ

